

「あー！目が痒いー！！」\(>_<)/「いつ擦(こす)るの？今でしょ！」って、それ大丈夫？<前編>

今回のフジタガンカニュース、何だか長いタイトルで恐縮です…(^_^;)さて、どうしますかね？とりあえず、擦っちゃいましょうか？「ゴシゴシ」？「ゴリゴリ」？「グリグリ」？ 臉(まぶた)の上からなら、目を触ってもそれほど痛くはありません。「痒いところに手が届く」なんて諺(ことわざ)があるくらいで、痒いところを擦るのって「チョー気持ちいい-(b y 北島康介)」ですよ。あまり強く擦ったら痛い(笑)でしょうけど、こうした「目を擦る行為」って、どなたでも経験があるんじゃないでしょうか。気持ちはいいし、とりあえず痒みは収まるし…「いつ擦るの？今でしょ！」(b y 林修・改変)メデタシ！メデタシ！…って、果たしてそれで良いのでしょうか？

「目を擦る事は、良い？悪い？」

今回のヘンテコなタイトルを翻訳するとこういう事になります、実は今回のフジタガンカニュースの裏テーマはこれだったのです。では気を取り直して、私の解説にお付き合い頂きたい存じます。回りくどい文章を面倒がらずに(笑)、付いて来て下さいねー。目的達成のために、何を調べましょうか？無論、目の霞みなど他の症状でも目を擦る事はあるでしょうけれど、擦る原因の一番の症状は「痒み」、そして「痒み」と来ればアレルギー性結膜炎(目の花粉症もこの一種です)、さらにアレルギー性結膜炎の重症型として春季カタル^{※1}とアトピー性角結膜炎(後の抜粋文章にて解説があります)が考えられます。今回もフジタガンカニュースお得意の身勝手な三段論法が炸裂！です。医学の世界では通例ですが「ある病態」について考える場合に、その病態の中でも特に「重症型」の病型について調べると、「症状と所見」が強くなるために様々な情報収集が容易であり、その情報を出発点として研究を進めるというやり方は一般に広く用いられる手法です。特にアトピー性皮膚炎で眼周囲に湿疹が出やすい患者さんの場合に目の病気(⇔眼合併症と言います)を生じやすい事が知られており、これについては様々な研究論文が発表されています。つまりここからは「アトピー性皮膚炎の患者さんが目を擦った場合の目の状態」に関して情報収集をします。(⇔その情報を一般の方が目を擦った場合に活用する訳です)「アレルギー・免疫 2000年10月号 (Vol.7 No.10)の巻頭言(雑賀 壽和/さいが眼科院長)」にアトピー性皮膚炎の眼合併症を総論的に解説した良い文章があります。以下に抜粋してみたいと思います。

近年、アトピー性皮膚炎の罹患数の増加とともに、その重症化、難治化がいわれている。アトピー性皮膚炎に伴う角結膜炎も重症タイプのアレルギー性結膜炎の一つで、特にアトピー性角結膜炎 (atopic kerato conjunctivitis : AKC) といひ、1953年、Hoganにより初めて命名、報告されている。この中で、アレルギー性の遺伝的既往があり、喘息、枯草熱^{※2}(コソウネツ=花粉症の別称)、鼻炎とともに長期にわたり顔、首、肩、腋窩、胸、膝、肘などを侵し、悪化と寛解を繰り返す頑固な皮膚炎の患者5名(29~47歳)について、春季カタルに似た特徴的角結膜病変が認められた、と記載されている。…中略…角膜にも炎症が及び、角膜炎、角膜潰瘍、角膜血管進入などを生じる。長期にわたって再燃を繰り返し、角膜混濁、不正乱視を残し、視力不良となる。白内障や網膜剥離の合併も問題となっている。これは、高度の掻痒感により、頻回に眼瞼を殴打したり、強く擦ることが多いため、水晶体のカプセルが障害され、その結果、外傷性の白内障が引き起こされると考えられている。さらに鋸状縁や毛様体扁平部などの網膜周辺部にも殴打によって外傷性網膜剥離が起こり易いとされている。この機械的的刺激は、現在のところ多くの支持を得ているが、他にもいろいろな説がある。一つは皮膚と水晶体とともに外胚葉起源であるため、アトピー性皮膚炎を引き起こす原因が皮膚と同じ水晶体にも影響するという説、また、アトピー性皮膚炎に伴う虹彩炎や周辺部ブドウ膜炎によって網膜周辺部及び周辺部硝子体に慢性炎症を生じて網膜硝子体が変性し、これが網膜裂孔形成の原因となるという説である。いずれも仮説の域を出ておらず、今後の研究が待たれる。…以下にも文章が続きます…

ハイ！赤字部分に今回の目的にマッチした解説があります。つまり…

高度の掻痒感⇔頻回に眼瞼を殴打・強く擦る⇔外傷性白内障・外傷性網膜剥離を生じる

という事です。あくまでも有力な仮説(他の原因も想定されている)という事ですが、僕が研修医時代にお世話になった先輩方がこれの研究^{※3}をやっていて、よく実験のお手伝いをしていました。可愛そうではありますが…「ウサギの目にパチンコ玉をぶつけてみる」というもので、やはり確実に白内障を生じておりました。また、別の研究によるとアトピー性皮膚炎患者さんには「円錐角膜^{※4}」という強い乱視を生じる疾患を併発することも多い^{※5}事が知られています。この報告によると、一般の円錐角膜の有病率は0.1%程度ですが、アトピー性皮膚炎患者では3.3%の有病率だったそうです。しかし、なぜアトピーの患者さんに円錐角膜が多いのかについては説明されていません。これは、あくまでも私の個人的な仮説の域を出ませんが…「円錐角膜」という病気は簡単に説明すれば「角膜の変形」なので、これも目を擦ることによる副作用と考えればその可能性は十分にあるように思えます。極論ですが…

「目を擦りすぎると…『①白内障②網膜剥離③円錐角膜』の3つの疾患を生じます。

危険なので目を擦ってはイケません！」

ということになり、これが今回の結論という事になるのです。紙面が足りなくなりました。今回のフジタガンカニュースはこれで終了です。追加情報は次回号をお待ちください<(_ _)>。

※1…春季カタル (vernal keratoconjunctivitis) 眼瞼結膜の乳頭増殖、もしくは角膜輪部の増殖性腫脹を伴うアレルギー眼疾患で、重症化した場合に角膜上皮障害を伴うことが特徴的です。男女比は3~4 : 1で男性に多く、5~7歳頃から発症して10代後半で自然治癒傾向を示します。タニヤハウスダストに対する過敏症を有していることが多いことから、アトピー性皮膚炎や気管支喘息を合併します。このような場合に自然治癒傾向を示さずに逆に重症化することもあります。(島崎眼科 HP より引用) ※2…枯草熱(コソウネツ) 十九世紀初め頃、英国の農民が牧草を刈り取って乾燥のためにサイロに収納する際、人によっては鼻からのどにかけて焼くような痛みと痒みが生じ、くしゃみ、鼻水、鼻詰まりと涙の止まらなくなることがありました。そしてこの症状を、当時一般的に「枯草熱」と称していました。それを医学的に初めて報告したのは英国の学者ボストークで、同じく英国のブラックレーは枯草熱がイネ科植物の花粉に起因していることを明らかにしました。こうして枯草熱は「花粉症」と呼ばれるようになり、のちに花粉によるアレルギー反応であることが判明します。こうした英国における花粉症は牧草であるイネ科、ことにカモガヤによるアレルギーでした。そして英国では牧草地が多く、花粉症の原因であるカモガヤが繁殖しやすいのです。(三好耳鼻咽喉科クリニック HP より引用) ※3…大下雅世、後藤浩、山川直之、臼井正彦、宇賀茂三：反復する鈍的機械刺激による実験的白内障モデルの確立と発症機序の解明。日眼会誌 109 : 197-204, 2005 / 石川友昭、大下雅世、大谷志志、山川直之、後藤浩、臼井正彦：振動負荷による血液房水柵破綻モデルの検討。あたらしい眼科 18 : 805-809, 2001. ※4…円錐角膜 (えんすいがくま、英 keratoconus・右写真参照) は、眼球の角膜における非炎症性変性疾患である。角膜が薄くなり中心部が突出するため、角膜の曲率が正常範囲を超えて小さくなる。欧米 keratoconus はギリシャ語の kerato- (角、ホーン、角膜) 及びラテン語の conus (円錐) に因む。円錐角膜に罹患すると、物が変型して見え、二重に見えたり眩しく見えたりする。しばしば比較的まれな状態と考えられているが、角膜の変性を起こす状態として最も多いものであり、人種によらず1000人に1人程度の有病率である。思春期に発見されることが多く、20-30代に最も重篤になる。円錐角膜はまだ不明な点の多い疾病で、病因は不明、経過がさまざまで予後を明言することも難しい。両眼に視覚的な歪みがあると患者の行動に不便を来す(自動車やバイクの運転免許取得など)。手術の必要性があらう。円錐角膜はある程度謎に包まれた疾患である。(ウィキペディアより引用) ※6…Dogru M, Nakagawa N, Tetsumoto K, et al: Ocular surface disease in atopic dermatitis. Jpn J Ophthalmol 43:53-57.1999



携帯サイト用 QRコード
スマートフォン iPhone用 QRコード

<http://www.fujita-ganka.com>

夏期休診スケジュール

	8/10	8/11	8/12	8/13	8/14	8/15	8/16	8/17	8/18
AM	○	×	×	×	×	×	×	×	×
PM	×	×	×	×	×	×	×	×	×

※×…休診 ○…通常診療

FUJITA-EYE-CLINIC

藤田眼科

エフ・ビジョン(コンタクトレンズ販売)

P-Vision

☎042 (645) 0575
☎042 (642) 2911